

よりよく問題解決する力を育てる総合的な学習の時間（探究） 境港市立境小学校の実践

境港市立境小学校では、子どもたちが繰り返し地域に出かけ、調査活動を行ったり、多くの人と出会ったりすることにより、地域への関心を高めるとともに、活動から生まれた新たな気付きや疑問を解決する取組が、学校全体で展開されています。実感を伴う体験を繰り返し設定したり、一人一人が主体的に課題に向き合うための思考ツールを工夫したりすることで、協同的・探究的な学習の深まりを目指しています。

「ふるさと境港をテーマに協同的な活動や多様な言語活動を組み入れた探究的な学習の実践」（小学校3年生）

単元目標

境港の町や人やもの・ことにかかわる体験を繰り返すことを通して、地域の特徴やよさ、そこに住む人の思いに気付き、新たな考えや自分たちの町への誇り・愛着をもつことができるようにする。

総合的な学習の時間のオリエンテーリング

- ・みんなが本気でチャレンジする学習
- ・自分たちで勉強を作る
- ・地域の人に教わる・町にかかわる
- ・いろいろな力をつける
- ・みんなで協力して進める
- ・考える・感じる・やってみる

① 課題設定

「ひみつ探検隊」を結成し、「ロードをもっと人気のある場所にしたい！来た人にたくさんのことを教えてあげたい！」といった子どもの願いをひきだし、調査に出かけています。

② 情報収集

繰り返し調査活動を行い、ロードの魅力を多様な視点から調査しています。

⑤ 課題の更新

2学期以降の取組につなげています。
☆水木しげるロードのリニューアル！
☆もっと魅力的なロードにしていこう！

③ 整理・分析

集めた情報を思考ツールで話し合い、町の魅力を整理することで、これまで自分たちが気付いていなかった魅力に気付くようにしています。
「昔ながらも大切にされている！」
「町全体で盛り上げている！」

④ まとめ・表現

ロードの魅力を、観光協会の人に伝えたり、ロードのお店の人に手紙を書いたりしています。

（話し合ったことを、文字言語で記述し活動の振り返りを行うことは、根拠をもって説明する力の育成につながります。（総合的な学習の時間は、全国学力・学習状況調査 B 問題の結果と相関が高い傾向にあります。）

総合的な学習の時間における取組のポイント

- 「課題設定」では、「解決したい」といった子どもの願いを引き出すことがポイントです。
- 「調べ学習を行い、模造紙にまとめる」といった学習にとどまらず、子どもたちが集めた情報を、整理・分析し、協同的に思考する場面を設定することで子どもたちの思考力を育てます。
- 教科で身に付けた知識や技能を活用する場になります。（例 国語科 目的や意図に応じて書くこととの関連）